

2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月10日

上場会社名 サンケイ化学株式会社 上場取引所 福

コード番号 4995 URL https://www.sankei-chem.com/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福谷 明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務本部長 (氏名) 福谷 理 TEL 099-268-7588

四半期報告書提出予定日 2023年4月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年11月期第1四半期の連結業績(2022年12月1日~2023年2月28日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主に 四半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	1, 320	△20. 2	△44	_	△29	_	△12	_
2022年11月期第1四半期	1, 654	9. 1	92	△21.1	102	△23. 4	72	△23.9

(注) 包括利益 2023年11月期第 1 四半期 △22百万円 (−%) 2022年11月期第 1 四半期 80百万円 (△12.5%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	△12.83	_
2022年11月期第1四半期	75. 95	- 1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第1四半期	7, 830	3, 153	38. 9	3, 176. 51
2022年11月期	8, 066	3, 206	38. 3	3, 223. 99

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 3,043百万円 2022年11月期 3,089百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計					
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭		
2022年11月期	_	_	_	30.00	30.00		
2023年11月期	_						
2023年11月期 (予想)		1	_	30.00	30.00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日~2023年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株3		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3, 730	△5.0	325	△4.1	349	△3.9	244	△4. 4	254. 62
通期	6, 960	△3.9	230	△1.4	288	△4.8	202	△4.9	210. 79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年11月期 1 Q	1, 019, 700株	2022年11月期	1,019,700株
2023年11月期1Q	61, 460株	2022年11月期	61, 428株
2023年11月期 1 Q	958, 240株	2022年11月期1Q	958, 282株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1.	当四	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期連結貸借対照表	3
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
		四半期連結損益計算書	
		第1四半期連結累計期間	5
		四半期連結包括利益計算書	
		第1四半期連結累計期間	6
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
		(継続企業の前提に関する注記)	7
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
		(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
		(会計方針の変更)	7
		(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済社会活動の制約が緩和されたことで対面型サービスを中心とした個人消費や海外からの観光客が増加し景気は緩やかな回復基調を維持しました。今後もプラス成長と見込まれていますが、欧米の景気が後退する可能性や長引いているロシアによるウクライナ侵攻に加え中東あるいは東アジアの地政学的リスクが景気を下振れさせるリスク要因となっており、先行き不透明な状況が続いております。

国内の農業を取り巻く環境に関しましては、2022年の農林水産物・食品の輸出金額が過去最高となり、また食料安全保障強化政策大綱が策定され農産物の国内生産・供給の基盤強化に対する取り組みの具体化が期待されますが、農業従事者数や耕地及び作付面積の減少といった根本的な課題があり、国内の農業を取り巻く厳しい状況は依然として続いております。

このような状況のもと、当社グループは従来からの地域密着を基本に、水稲用殺虫剤「スクミノン」、食品由来物質を用いた「サンクリスタル乳剤」、「ハッパ乳剤」ならびに環境と樹木への負荷を軽減した樹幹注入剤「ウッドスター」などの独自開発品に加え、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業ならびに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、13億20百万円(前年同期比3億33百万円、20.2%減)となりました。これは当四半期が農薬の不需要期にあたることに加え2022年12月からの農薬価格改定を前にした駆け込み需要の影響によるものです。損益面では、営業損失は44百万円(前年同期は92百万円の営業利益)、経常損失は29百万円(前年同期は1億2百万円の経常利益)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は12百万円(前年同期は72百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当社グループの事業は単一セグメントでありますが、製品の用途別売上は以下のとおりとなりました。

殺虫剤は園芸用が減少し売上高は6億91百万円(前年同期比2億90百万円、29.5%減)、殺菌剤は園芸用が増加し売上高は1億40百万円(前年同期比16百万円、12.8%増)、殺虫殺菌剤は水稲用が減少し売上高は63百万円(前年同期比1億7百万円、63.0%減)、除草剤は水稲用が増加し売上高は2億29百万円(前年同期比38百万円、20.2%増)、その他は園芸用が減少し売上高は64百万円(前年同期比7百万円、10.8%減)、農薬外その他は緑化用が増加し売上高は1億30百万円(前年同期比17百万円、15.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は78億30百万円で、前連結会計年度末に比べ2億35百円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少が商品及び製品の増加を上回ったことによるものであります。

負債は46億77百万円で、前連結会計年度末に比べ1億83百万円の減少となりました。これは主に未払賞与並びに その他の減少が支払手形及び買掛金の増加を上回ったことによるものであります。

純資産は31億53百万円で、前連結会計年度末に比べ52百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績は、2022年11月期の決算発表時(2023年1月12日)の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(畄位		7 m)	
(111 / 11 / 11	•	_ H)	

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 084, 523	1, 477, 694
受取手形及び売掛金	1, 422, 660	1, 338, 214
電子記録債権	728, 623	802, 377
商品及び製品	1, 017, 716	1, 312, 963
仕掛品	79, 968	105, 998
原材料及び貯蔵品	515, 869	575, 780
その他	56, 513	47, 279
貸倒引当金	$\triangle 1,442$	△411
流動資産合計	5, 904, 432	5, 659, 896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	249, 856	249, 075
機械装置及び運搬具(純額)	161, 569	161, 504
土地	443, 337	443, 337
リース資産 (純額)	46, 041	40, 733
建設仮勘定	22, 954	24, 495
その他(純額)	37, 410	35, 125
有形固定資産合計	961, 169	954, 271
無形固定資産		·
ソフトウエア	1,767	1,300
その他	165	165
無形固定資産合計	1,933	1, 465
投資その他の資産		,
投資有価証券	1, 006, 958	1, 008, 440
繰延税金資産	104, 336	118, 579
その他	99, 091	99, 393
貸倒引当金	△11, 538	△11, 538
投資その他の資産合計	1, 198, 847	1, 214, 874
固定資産合計	2, 161, 950	2, 170, 611
資産合計	8, 066, 382	7, 830, 507
只/工口川	0,000,382	1,000,001

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 164, 708	1, 234, 734
1年内返済予定の長期借入金	770, 929	771, 417
リース債務	20, 723	19, 42
未払法人税等	50, 930	3, 629
賞与引当金	16, 077	49, 025
返金負債	180, 539	178, 494
未払賞与	97, 725	_
その他	424, 196	311, 563
流動負債合計	2, 725, 828	2, 568, 29
固定負債		
長期借入金	1, 437, 546	1, 421, 39
リース債務	29, 699	25, 20
退職給付に係る負債	355, 580	348, 298
役員退職慰労引当金	81, 700	81, 500
長期預り保証金	229, 758	232, 38
固定負債合計	2, 134, 284	2, 108, 78
負債合計	4, 860, 113	4,677,07
純資産の部		
株主資本		
資本金	664, 500	664, 500
資本剰余金	296, 712	296, 713
利益剰余金	1, 993, 407	1, 952, 36
自己株式	△68, 032	△68, 073
株主資本合計	2, 886, 588	2, 845, 50
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202, 878	198, 36
その他の包括利益累計額合計	202, 878	198, 36
非支配株主持分	116, 802	109, 56
純資産合計	3, 206, 269	3, 153, 432
負債純資産合計	8, 066, 382	7, 830, 507
		.,,

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

		(単位:十円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	1, 654, 964	1, 320, 996
売上原価	1, 256, 263	1, 056, 086
売上総利益	398, 701	264, 909
販売費及び一般管理費	306, 190	309, 842
営業利益又は営業損失 (△)	92, 510	△44, 932
営業外収益		
受取利息及び配当金	6, 288	7, 815
受取賃貸料	714	726
受取保険金	1, 126	_
倉庫保管料	2, 563	1,665
持分法による投資利益	90	6, 535
その他	2, 489	2, 270
営業外収益合計	13, 273	19, 012
営業外費用		
支払利息	2, 912	3, 564
その他	25	60
営業外費用合計	2, 938	3, 625
経常利益又は経常損失(△)	102, 845	△29, 545
特別利益		
固定資産売却益	_	612
特別利益合計	_	612
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	102, 845	△28, 933
法人税等	32, 482	△11, 041
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	70, 362	△17, 892
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2, 423	△5, 593
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	72, 786	△12, 298

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		(1 1 1 1
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70, 362	△17, 892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10, 825	△6, 476
持分法適用会社に対する持分相当額	△478	2,070
その他の包括利益合計	10, 346	△4, 405
四半期包括利益	80, 709	△22, 297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83, 058	△16, 809
非支配株主に係る四半期包括利益	$\triangle 2,349$	△5, 488

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており、事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。